



2024年6月1日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ペアーズ2

梅雨の季節になりました。天候とともに体調も不安定になりやすい時期でもあります。毎日、子どもの様子や変化に気を配り、バランスの良い食事や睡眠をしっかりと、生活リズムを整え、元気に過ごしていきましょう。

《 5月の感染症情報 》

溶連菌感染症	…	1名
新型コロナウイルス感染症	…	1名
RSウイルス感染症	…	6名
ヘルパンギーナ	…	1名
ウイルス性胃腸炎	…	1名

虫刺され

乳幼児が蚊に刺されると、大人より反応が遅く、1～2日後に症状が出る場合があります。時間が経つにつれ、赤く腫れたり、水ぼうがができたりし、腫れる場合も大人よりも大きく腫れあがります。これは、虫刺されの経験が少ないために起こる激しい炎症反応です。

お知らせ

歯科検診があります。

6月14日（金）9時～

歯科検診は虫歯の有無だけでなく、

- ・ 歯並びやかみ合わせ
- ・ 歯垢がついてないか
- ・ 歯肉が腫れていないか

などを調べます。

朝食後はていねいに歯みがきをして登園しましょう。

お休みした場合は後日、保護者の方で池田歯科（園囑託歯科医）へ受診していただきます。

虫刺されの手当て

1. 水でよく洗い流す
2. 虫刺されの薬をつける
(刺されて30分以内につけるのが効果的)
3. かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
4. 爪を短く切る（とびひの予防）

・ かゆみが強く、腫れが続く、ただれてくるなどの場合は、皮膚科を受診してください。

・ かかないことが大切です。かいてしまうと傷から菌が入り悪化することや、とびひになることもあります。かき続けることで治りも悪くなってしまうので、十分に気を付けましょう。

歯と口の健康週間 6月4日～10日 「歯を見せて 笑える今を 未来にも」

よく噛むとよいことがたくさん

- ・ 歯やあごを発達させる
- ・ 歯の病気予防
- ・ 食べすぎを防ぐ
- ・ 脳の働きを活発にする
- ・ 胃腸の快調 など
(噛み応えのある食材や初めて食べる食材は、必ず大人の目の届くところで食べるようにしましょう)

虫歯予防

- ・ おやつ時間を決める
- ・ 間食を控える
- ・ 歯みがきの習慣



歯みがきは、「食べたらみがく」が基本です。特に大事なのが就寝前です。寝ている間は唾液の量が減るため、口の中の洗浄作用が弱まって細菌が増えやすいからです。子どもが歯みがきをした後は、最後に大人が仕上げみがきや確認をしましょう。

また、歯みがきも大切ですが、おやつを決めた時間に与えることやおやつは1日2回まで、また、食が無い時間をもうける（間食を控える）ことが大切です。フッ素入り歯みがきの使用も虫歯予防に効果的です。

お子さまの歯みがきで気になることや困っていることがあれば、日本歯科医師会のホームページに年齢に合わせた磨き方やポイントが掲載されています。参考にさせていただきます。また、虫歯はなくても年1～2回の歯科受診をお勧めします。お口の中や歯の健康チェックと合わせて、気軽に口の中のことや歯みがきについて相談ができます。